

三朝町

三朝町の南側には千メートル級の中国山地の山々が連なる。その一つ・三徳山は神仏の宿る修験道の里。千年を超える祈りの歴史がまちの空気を深くときすまし、湧き出る水は豊かな実りと温泉街の賑わいを生み出す。

【みささ・ちょう】

BASIC DATA

人口	7,446人(H21)
農業就業人口	923人(H17)
面積	23,346ha(H21)
経営耕地面積	498ha(H17)
特産品	米、梨、トマトほか



お問い合わせ先

三朝町担い手育成総合支援協議会
〒682-0195 鳥取県東伯郡三朝町
大瀬999-2(三朝町農林課内)
☎ 0858-43-3515
http://www.town.misasa.tottori.jp

神秘の山並みが
豊かな実りと賑わいを見守るまち。

澄んで冷たい水、昼夜の温度差、水はけの良い土。まちには特に稲作に適した条件がそろう▲

まちの環境と農業

environment & agriculture

気 候

夏は涼しく冬に積雪

中国山地が迫る高原地帯であるため、夏は比較的涼しいが、雨が多く日照時間が少ない。冬期になると多い地区で1.0m前後の積雪がある。朝夕は気温が下がり、日中との温度差が大きい。

地 勢

希少生物を育む清流

南部に中国山地の1,000m級の山が連なるなど町域の9割以上が山林。町内に源流を発する県内三大河川の一つ天神川が西部を流れ、谷間から大小の河川が合流。これらの流域を中心に田園が広がる。河川の水質は良好で、天神川の支流・三徳川では清流にしか息しないホタルやカジカガエルの姿が見られる。また、土壌は水はけの良い砂壤土で構成される。

農 業

米と梨が主産品

河川流域で良質な水を生かした米栽培が行われ、丘陵地で梨が生産されており、両者で農業産出額約8億円(平成18年)の過半を占める。ほかにトマトなど。

主な農産物

agricultural products

玄人好みのコシヒカリ

三朝町産のコシヒカリは魚沼産に劣らぬ極上の米。特に多くの銘柄米を食べ比べている都市部の消費者の評価が高い。その訳は、清らかで冷たい水、昼夜の温度差、水はけの良い砂壤土という食味を高める条件がそろっているから。最近では、アイガモ農法や町内に群生する竹を活用した竹酢液による栽培で安全・安心のプランT米づくりを目指す動きもある。

米

支援制度

support for new farmer

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

- 対象者** 町内に就農する認定就農者等
就農時から5年以内、65歳未満)
- 内 容** 次の場合に助成する。
①農協または公社が認定就農者等に対し就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
②認定就農者自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合
- 補助率** 1/2 事業費上限2,000万円)



2 移住・定住者向けの主な支援制度

住 宅

町営住宅のあつせん

移住定住者向けに町営住宅をあつせん(家賃は所得状況により決定)

子 育 て

小中学生医療費助成

乳幼児期の特別医療(5歳まで)が終了したときから中学校修了までの医療費の一部を助成

奨学金

- 奨学資金貸付金
高等学校3年間について貸付
- 農業後継者養成奨学資金
農業高校等の農業関係課程在学者に対して給付

その他

保育料減額(所得・家庭状況による)、遠距離通学児童・生徒への通学費補助、地域子育て支援センターの設置、放課後児童クラブの設置など

Town Topics

三徳山～奇堂と名湯を生んだ霊山

町の南東にそびえる三徳山(みとくさん、標高899m)。古くから修験道の行場として栄え、人々の信仰を集めてきた霊山だ。

開山は1300年前。修験道の開祖 役小角(えんのおづめ)が修行の場を決めるに当たり、蓮の花びらを神仏にゆかりのある場所へ」と念じて空に投げたところ、石鏡山(俊媛)、吉野山(奈良)と三徳山に舞い降りたのだ。

この偉大な修行者は、さらに山のふもとで作ったお堂を手のひらに乗るほどに小さく、断崖絶壁にある岩窟に投げ入れた。これが国宝「投入堂」と伝わる。

それから450年後の平安時代末期。平家に敗れた源氏の家臣が再興を願って三徳山参拝の途中、老いた白狼を見つけた。あわれんで討たずに見送るとその夜、夢枕に妙見菩薩が。翌日、お告げに従い掘ったクスノキの根元からこんこんと湯が湧き出し、これが三朝温泉の由来といわれる。

奇跡の寺院建築と山陰屈指の名湯。霊験あらたかな三徳山の神通力が三朝の名所を生み出した。

担当者メッセージ

三朝町農林課
河中 文正さん

三朝町といえば、温泉や国宝「三徳山投入堂」など観光地として有名ですが、肥沃な土地を活かした稲作や二十世紀梨の栽培など農業も盛んです。この豊かな自然環境のもとで農業に挑戦してみませんか? 就農に際しては、あらゆる面でご支援しますので、お気軽にご相談ください。

新規就農者紹介

岡崎 久徳さん

平成20年9月に和牛農家として就農。それまで農業の経験は全くなかった岡崎さんだが、心がけているのは「はじめからあまり気負わず、まずは楽しむこと」。先輩農家に助けられながら、飼育技術の習得に日々励んでいる。

